しんぶん　つむぐ

『紡ぐ』

2024. 9. 1　第79号

発　行　教育相談室「あした塾」　発行責任者　滝井元之
連絡先　927-0014　石川県鳳珠郡穴水町梶りの１９７
☎・📠　0768-56-1152　（自宅☎　0768-56-1151）

災害ゴミの搬入は9月末まで延長になっています。

倒壊家屋とシンテッポウユリ

地震で倒壊したままの家。その家を取り囲むようにシンテッポウユリが咲いていました。何と表現していいのかわかりませんが、思わず心を惹かれた風景でした。(T)

能登半島地震発災から
8か月です

発災から8か月。穴水町の現在はどうなっているのでしょうか。能登半島地震での死者は関連死を含め318人（7月24日現在）です。穴水町は26人（内 関連死は6人）の方が亡くなられています。

仮設住宅は諸橋、甲、中居、川島、大町、由比ヶ丘、[illegible]町、鵜島、志ヶ浦、河内、下唐川の20か所余りに建てられています。

8月13日、穴水町の1次避難所は全て閉鎖されました。被害の大きかった能登半島6市町の中で避難所を閉鎖したのは穴水町だけです。また、土砂崩れの危険性が高いことから避難指示が発令されていた川島、由比ヶ丘、地蔵坊の3地域44世帯は「長期避難世帯」に認定され、全壊世帯と同等の支援が受けられます。これから先、まだまだ困難な生活が続きます。**声かけあって、孤立する人が出ないよう**みなさんで乗り越えていきましょう。

文芸

吾が決めし誕生花のネジバナを
仮設地に見ず心がさみし
（仮設）泉　民子

軽トラの走行距離が五万超え
今日も運びぬ震災塵を
（梶）室木正武

お2人の歌は、いずれも北国新聞から転載させてもらいました。

（ミニ トキ次郎）

なあげそうけせんべい

穴水町商工会女性部は「なあげそうけせんべい」を開発し、穴水町の復興に向けて元気を届けています。

（問い合わせは商工会女性部へ）

仮設からの声

進めない!

この声にどう応えたら…

穴水町には20数ヶ所の仮設住宅が建てられています。合わせて500戸余り。これまで月に1~2回「しんぶん『紡ぐ』」を配布しながら入居者の皆さんのお話を聴いてきていますが、切実な思いが伝わってきます。それらの声(思い)にどう応えていけばいいのか、行政や議会そしてボランティアに関わる人たちも考えておかなければいけないのでは…。
(T)

(写真は甲地内 地盤が沈下している)

前を向いていこうと思うが

「家の解体は終わった。そこに家を建てなおしたいと思ったが、地震で地盤が下がったこともあり、高潮でそこが水浸しになった。もう建てられない。前を向かなきゃと、前を向いてみるけど先に進めない。どうしたらいいのか…。」(甲地内)

(夏水仙)

畑ができない

「今までだったら家の近くに畑があって、畑をしていると気持ちも元気になれた。
でも、今は、それができない。仮設のまわりを歩いてみても、なかなか元気になれない。だんだんとじこもることになる。プランターで野菜を作ることも考えたけれど…。」(複数)

復興住宅は本当にできる?

「仮設入居は2年と聴いている。入居者のほとんどは高齢。仮りに復興住宅ができても数年の間に空き室が次々に出てくるのではないか。そんなことを考えたら復興住宅を建ててもらえないのでは…。」(諸橋)

(仮設入居期間は原則2年間ですが、復興状況に応じて期間を延長できる制度になっています。)

シニアカーで転倒!

「仮設からの移動でシニアカーを使っているが、先日、道路のくぼみがわからなくて、そこにはまり転んでしまった。
とても大変だった。(川島地内)

〝紡ぐ〟配布に

これまで福井県の親子、福島県の親子、静岡県の歯科医師の方、東京都のマスコミ関係の方などが〝紡ぐ〟配布と聴き取りに協力してくれました。先週は仮設入居者の方である孫(子どもさん)が手伝ってくれました。

9月議会・一般質問は 9月10日(火)1時半からです。傍聴してみませんか!?

いろいろな情報・相談は「あした塾」へ届けてください。